

# 佐保川の桜並木

## 観光資産 今後とも維持管理を

奈良市には水室神社や奈良奥山ドライブウェイ、浮見堂や平城京など桜の名所が数多く点在します。中でも全長約5キロにおよぶ佐保川沿いの桜並木は、約40年前に県が植えられたと伝わり、維持管理は平成5年から市が行っています。このほど、県が大宮橋下に遊歩道を整備することが決まり、ますますこの桜の名所の価値の向上が期待されています。



全長約5キロにおよぶ佐保川沿いの桜並木は、平成5年から市が維持管理を行っている

地元住民だけでなく、観光客も開花を楽しみにしているこれらの観光資産が、今後、変わりゆくまちづくりの中、きちんと守られていくか、観光文教委員会で市の考えをたどりました。また植樹後40年、寿命まであと10年程度の桜の今後の維持管理について努めていくよう要望しました。

市からは今後の維持管理について、市と県の奈良土木事務所と協議していると答弁があり「JWマリオットホテルなどのオープンなどを注視しつつ、観光資源として

の価値をPRしていきたい」と回答がありました。

### 平松周辺のまちづくり

## 旧奈良病院跡地に子どもセンター設置へ

奈良市と県が結んだまちづくりに関する包括協定では4つのエリア(大和西大寺、八条大安寺、平松、奈良公園)での連携したまちづくりが進められています。旧奈良病院跡地の跡地利用を含めた平松のエリアでは、まちづくりの方向性が見い出せていない現状がありました。市議会12月議会でする意向を示し、まちづくりの青

写真が肉付けされました。

平松のまちづくりは、県立奈良病院跡地を核に、介護福祉施設や健康増進施設、交流施設、戸建て住宅、公園などの機能に加えて、奈良市子どもセンターの整備が決まり、市は今年度末までに基本構想を明らかにするとしています。

設置される子どもセンターでは、児童相談所や子どもとその保

## 国交省陳情 トップセールス強化を

まちづくりの財源となる国土交通省の「社会資本整備総合交付金」を確保すべく、わたしと会派「自民党」の仲間、仲川元庸市長で上京し、国交省の奈良市出身の森昌文事務次官に直接陳情しました。また同交付金を獲得するためには、国と県、県と市の関係をより密にすることが重要で、仲川市長に対し、市議会12月定例会で

護者の遊び場や交流の場、療育が必要な子どもに対する指導や訓練などを行います。市内には約5万2000人の対象児童がいると推測されており、わたしは建設する規模が適正なのかなどをただしま

算で市の一般会計における収入に対する支出の割合を示す「経常収支比率」が2年連続で100%を超えたことについて市の考えをたどりました。また、学校施設へのエアコンの設置を来夏までに完了することを強く求め、財政の健全化と、市民が求める緊急的な事業の完遂との両立に

努めていくことを強く要望しました。市の昨年度の決算では、歳入(収入)に対する歳出(支出)の割合を示す「経常収支比率」が100%を超え、依然として厳しい財政状況が明らかになりました。これは全国の他の中核市と比較しても厳しい状況です。歳入のさらなる確保と、歳出の抑制、経費削減などの努力を市に求めました。

## 「両立の努力を」 財政の健全化、エアコン設置

代表質問に立った市議会9月定例会でわたしは、平成29年度決



財務省、国土交通省、自民党本部をまわり、西大寺駅北口広場・南土地区画整理事業、JR奈良駅南土地区画整理事業などを中心とした社会資本整備総合交付金に関する提案・要望

一方、今夏に全国的な話題になった学校施設へのエアコン設置についてわたしは「奈良市の児童・生徒の命を守るという観点からは是非でも来夏までに設置を終えていただきたい」と要望。奈良市はこの定例会でエアコン設置のための予算付けを行い、「できる限り来夏まで全ての幼稚園、小学校、中学校への設置を終えたい」と表明しました。

## 市民の皆さまが暮らしやすい町へ

## 7期目、これからも地域と共に

市民の皆さまが暮らしやすい町にするため、さまざまな施策を展開してまいりました。

## 四条大路にも新たに防犯カメラを設置

四条大路三丁目第1の森中徹会長・第2の森田秀雄会長、大將軍神社の森田一男長老と写す



## 地域での活動



都跡小PTAの10月実行委員会で保護者にエアコン設置の進捗を説明



都跡子ども園で



読み聞かせ

## さまざまなイベントに参加しています。



自由民主党奈良市支部総会で幹事長就任



餅つき大会



市民体育大会ウエイトリフティングの部出場へむけ調整中